ニーズレター

発行日　２０１９年　２月１２日
特定非営利活動法人　グループホームネット香川

もくじ

○ 理事長巻頭言　２
○ 新年会を振り返って　４
○ 「私と仕事」　６
○ 「高齢化問題」　７
○ 事務局だより　８
○ 編集後記　８

巻　頭　言

「障害者差別解消法」施行3年

理事長　細谷　要一

新春のお慶びを申し上げます
本年もよろしくお願いいたします

年一回のグループホームネット香川の利用者(入居者)、スタッフ、理事が一堂に集まる会。今回は新年会として開催され、とても良い時間を過ごすことができました。こういう形になって二回目ですが、以前から長く続いてきていたかのような和やかで楽しい雰囲気になりました。

さて、先日の新聞によると視覚障がい(全盲)がある女性が、クラシックコンサートに出かけたところ、３ヵ月前に購入したホール中央席のチケットを持っていたのに、その席に行くには階段があるからとの理由で、意に反して端席に座らせられたといいます。女性は白杖を持ち、歩行に問題はなかったのに、入場すると無理やり車椅子に乗せられました。スタッフに本来の席への移動を何度も求めたようですが聞き入れられず、逆に車椅子用の席なら５千円ほど支払うと座れると言われ、それは断わり結局諦めて端席に座りました。

このトラブルの後、女性と家族は障害者差別解消法に定める「障害者差別の禁止」と「合理的配慮」を無視されたとして、共催者である放送局と市に申入れをしました。当初は返答なく、再度の抗議によって放送局からは謝罪の申し出がありました。しかし、市においては担当部局をたらい回しにされたり拒否的返答ばかりで、まともな対応をしてもらえなかったという内容です。

この女性の気持ちを考えると、さぞ悔しい思いをされただろうと思いますが、後日、やっと叶った三者協議の中で、謝罪があった一方「女性が納得して端席へ座った」「転落防止のためだ」と女性の訴えをすべて否定する主張がされ、話し合いがまとまらなかったようです。そこで、女性は障がい者への差別が少しでも減ること、障害者差別解消法が遵守されることを願って、やむなく訴えを起こすことにしたと伝えられています。

障がい者の権利や尊厳を保護・促進するために、国連において２００６年「障害者権利条約」が定められました。わが国では２００７年に署名し、続いて批准にむけ「障害者基本法の改正」「障害者差別解消法」「障害者雇用促進法の改正」等の整備がされました。そして、２０１３年に批准し翌２０１４年に国連で承認され発効しました。

条約の第２条では「合理的配慮」(障害のある人が障害のない人と平等に人権を享受し行使できるよう、一人ひとりの特徴や場面に応じて発生する障害・困難さを取り除くための、個別の調整や変更)が明記されています。具体的には、日常の生活から雇用、職場に求められているものが障がい別に例示されています。

整備されたそれらの法律(改正法)には、差別禁止と合理的配慮が謳われています。特に「不当な差別的取り扱いの禁止」に関して、事業者には「努力義務」となっていますが、地方自治体等は「法的義務」が課せられています。

一部地方自治体、報道機関等によっては、この障がい者への差別の問題や合理的配慮について、認識の違いも大きいのかもしれません。しかしこの女性に起きた問題からは、一般の人々の障がい者への人権、合理的配慮の意識がまだまだ低いということを現しているように思えます。

グループホームネット香川は福祉サービスを提供する事業者であり、利用者(入居者)の社会参加を支援するのが業務なので、われわれ一人ひとりがしっかりと学び、理解を深めて実践していくことが必要であると考えます。

いだてんたろう

新年会を振り返って

司会進行役　吉田　孝浩さん

入居して初めての新年会だったのだが、司会に抜擢された。
みんなの力添えがあり、直前までドキドキ、ハラハラ、不安でいっぱいだったが
打ち合わせをしていたこともあり、次から次に言葉もでて、うまくいった。
司会など人前ですることは、今までしたことはなかった。
余興も打ち合わせをして、準備していた。みんなでもりあがってよかった。
今は、無事に終わってほっとしている。
また要望があれば、司会をうけてもいいかなと思った。
理事や職員と一緒にすることは初めてのことだった。
入居者や理事の方に、
初めてお会いする方も多かった。
また、いろいろな機会に、
交流ができたらいいなと思った。
みなさまには大変お世話になりました。

（アンケートより）

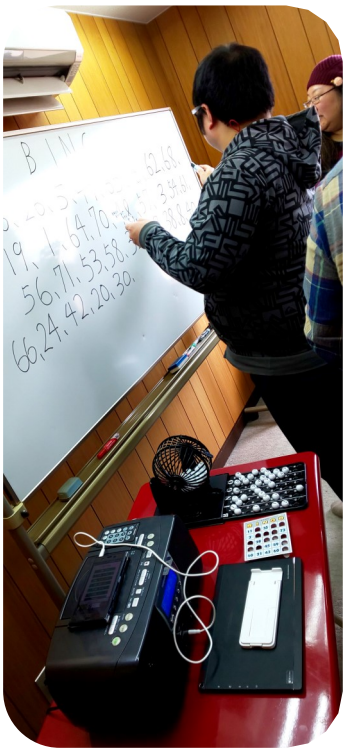
皆さんの進行もすごく良くて楽しかったです。

アッという間の新年会でした。
とても楽しい思い出になりました。

マジックが成功して良かったと
ホッとしています。
来年は(マジックの演出に入れた)
コントの完成度が
上がっているといいなあ…

マジックが・・・
　新しいものが見れるといいな。

お料理もおいしかったです。



ビンゴが楽しかった。
ビンゴ大会がまたできますように

参加者 17 名でした。お昼をはさんで
2 時間、和やかに盛り上がりました。

「私 と 仕 事」

いだてんたろう

私は今働いている。という事は中学の英語で習った現在進行形という事だ。私も５２歳になったが、今まではずい分働いていない時期が長かった。２０代の時は１０年近くひきこもりをしたし、パニック障害、不安神経症で心療科に通院するしかない時もあった。ここ１０年程は統合失調症に苦しみ、一般就労までに７年近くかかった。

今は、スーパーで働いて１年と少し経った。私は売り場でお客様や業者の人に、商品の事などを尋ねられても、他の部門の事は全く分からない。だから他の部門の人に聞くか、お願いするしかない。こういう事が売り場では常住おこる。そういう時昔の私だったら、とても苦しかっただろうと思う。その点、私も年をとったし、仕事の経験は少ないかもしれないが、一つ一つの仕事だったり、色々あった事が、 仕事を継続するうえで、いくらか役に立っていると思う。

私は今、仕事をしていて常日ごろ思う事は、昔ひきこもりや通院だけの時は、社会とのパイプがなかったか、かろうじて１本あるぐらいだった。今は働いているから、パイプとかではなく社会そのものだと思うのだが、実はこれも私が勝手に頭の中でつくりあげたものかもしれないなどと、考えてしまったりする。対人との壁を高くしていないか？ 変な人と思われてないだろうか？ やっぱり私は社会や組織には属せないのか？ と、少々途方にくれたりする。

ただこの様に私が仕事の後、そういう感情にエネルギーを使いすぎるという事は、ヒマだし、心配しているところがズレているのかもしれない。私は、おせっかいかもしれないが、ひきこもりや病気などで働けない人は、私が体験したような考え過ぎによるものではないかと思う。皆、社会や職場の中に入って認められたいし、明るく生活がしたい。それが出来ないから家に居たり、働きに行けないのではないだろうか。私は、実体験に基づく考えだけではなく、本で読んだり人から聞いたりすることから、私自身にも考えなどにバラつきがあるという事を、多少は自分でわかっている。

私も年をとったが、まだまだこれからかもしれない。この様に書くと、今まで読んで下さった方に失礼なのだが、私はこれからも、一番付き合いにくい自分と付き合っていかなければならない。これまで私を応援して下さった方々の為にも、出来るだけの努力と、少し緊張感をもった毎日を、送らなければならないと思っている。

「高 齢 化 問 題 」

理事　細谷　賢嗣

2065 年になると、約２．６人に１人（38.4%）が 65 歳以上、約３．９人に１人（25.5%）が 75 歳以上になるらしいです。2014 年現在、外来の精神障害者の総数のうち、65 歳以上の割合が、約２．７人に１人（36.7%）となっています。（「平成 30 年版　障害者白書」より。統計は平成 28 年の調査による。）

当法人がグループホームを設立してから早や２１年。設立当時には考えていなかった現実に向かい、確実に進んでいます。

グループホーム内での高齢化はとても重要な問題で、今のシステムでは対応出来ない事が多数あります。

たとえば…

- 高齢化が進むと、精神疾患に加えて内科的疾患（糖尿病、高血圧）が増え、通院回数が増える。
- グループホームに看護師が不在の為、医療行為が出来ない。
- 認知症の症状が現れ、精神症状か認知症症状かが、わかりづらくなる。
- 体力低下などの身体的問題が増える。
- 日中活動が出来にくくなる。

少し考えただけでも沢山の課題が出てきます。

対応としては、

- 夜間、休日の日中支援の為の人材確保。
- 介護保険制度との併用。
- バリアフリー化。

などが考えられますが…。

どれも経費面、人材面を考えると簡単ではありません。

しかし、以上の問題を含めて、ハード面、他機関などとの連携、支援体制、医療面での対策など、早急に検討しなくてはいけない大きな課題です。

障害がある人が、老いも若きも、地域でいきいきとした生活が送れますように…。

事務局だより

事務局　増田　周作

２０１９年がはじまりました。入居者の方の記事にもあったように、今年のはじまりは入居者、理事、職員合同の新年会を開催し、昨年度の忘年会(１年前)に引き続き大いに盛り上がりました。

年は明けて新しくなりましたが、今年度の決算やまとめはこれからで、新年度のスタートに向けての準備がはじまったところです。

昨年度は事務局体制も変わり、いろいろと見直しを行い、苦労もありましたが、新しい発見もある一年でした。

グループホームをスタートして、今年の２月で２１年になります。

常に前を向き、地に足をつけてよい支援ができるように、理事、職員一同が一丸となって、入居者とともに歩んでいきたいと思います。会員の皆様方には、引き続きご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

新しい年を迎えられ、心も新たに出発をされた方もおられることと思います。

今年は平成最後のお正月でした。行事の後先には「平成最後」という言葉がよく聞かれます。自分の中で何かに区切りをつけて、新しく出発するにはいい機会かも知れません。

私は今年こそは身の回りの整理をして、もっとスリムな生活をと考えています。シンプル・イズ・ベストです。これは長年の夢であり、かつて実現できなかったことです。今年こそは実現したいと思っています。

腹八分目の食料と暑さ寒さが防げる服、そして、人の温かさが程よく感じられる日々があればと、そんなことを考えて一年のスタートを切りました。さて、皆さんはどのようなスケジュールを立てられたでしょうか。（天満）

（発行）特定非営利活動法人 グループホームネット香川

連絡先：　香川県高松市円座町１１２４番地６

TEL：０８７－８８５－５２７０　　FAX：０８７－８８７－５９５５